



2022年

もも病害虫防除暦

JA 中野市営農センター

回数	散布日	散布時期	散布薬剤 (水100%当り)	収穫前 使用時期	使用 回数 (以内)	散布量 ℓ/10a	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
1	月 日	発芽前	(水98%) スプレーオイル 2ℓ アブロードフロアブル 100mℓ キンセット水和剤 80 100g	発芽前 14日前 開花直前	— 3回 5回	300	せん孔細菌病 縮葉病 カイガラムシ類幼虫 ハダニ類	①【代替】キンセット水和剤 80・アブロードフロアブルに代えて、石灰硫黄合剤の10倍(発芽前)でもよい。 *石灰硫黄合剤は隣接するハウスビニールにかからないようにする。 ②せん孔細菌病 発生園は、開花7日前にキンセット水和剤 80の1,000倍(開花直前まで、但し収穫60日前まで、5回以内)を特別散布する。
◆ せん孔細菌病対策：重要防除期間(開花直前 ~ 6月中下旬)の防除と併せて春型枝病斑の切除を徹底し、園地内の菌密度を減らす。								
2	月 日	開花直前	アビオンE(展着剤) 100mℓ IC ボルドー412 3.3kg	—	—	350	せん孔細菌病 縮葉病	*せん孔細菌病対策 開花直前~6月まで、春型枝病斑の切除を徹底する。 ①展葉後のボルドー散布は薬害を生じるため、散布時期を厳守する。 ②【代替】IC ボルドー412に代えて4-12式ボルドー液でもよい。 ③アブラムシ類発生園はウララ DF2,000倍(14日前、2回)を加用する ④アグレプト水和剤、アグリマイシン-100等の使用回数は、合計で2回までとする。尚、ぶどうにかかると種無し果を生じるため、飛散しないよう注意する。
3	月 日	落花直後	アビオンE(展着剤) 100mℓ サムコルフロアブル10 20mℓ パレード15フロアブル 50mℓ アグレプト水和剤 100g	前日 前日 60日前	2回 2回 2回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 うどんこ病 モモハモグリガ ハマキムシ類	
4	月 日	5月中旬 (前回から 10日後)	アビオンE(展着剤) 100mℓ モスピラン顆粒水溶剤 25g ストロビードライフロアブル 50g アグレプト水和剤 100g	前日 前日 60日前	3回 3回 2回	400	せん孔細菌病 黒星病・灰星病 うどんこ病 アブラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 カメムシ類	①【代替】シンクイムシ類・カメムシ類 発生園は、ハチハチフロアブルに代えて、イカズチ WDG の1,500倍(前日、5回)を使用する。 ②カイガラムシ類 発生園は、コルト顆粒水和剤の2,000倍(前日、3回)を加用する。
5	月 日	5月下旬 (前回から 10日後)	アビオンE(展着剤) 100mℓ トレノックスフロアブル 200mℓ ハチハチフロアブル 50mℓ マイコシールド 66g	7日前 前日 21日前	5回 2回 5回	500	せん孔細菌病 黒星病・灰星病 モモハモグリガ アブラムシ類	
6	月 日	6月上旬 (前回から 10日後)	アビオンE(展着剤) 100mℓ アルバリン顆粒水溶剤 50g トレノックスフロアブル 200mℓ マイコシールド 66g	前日 7日前 21日前	3回 5回 5回	500	せん孔細菌病 黒星病、灰星病 モモハモグリガ アブラムシ類 シンクイムシ類 カメムシ類	せん孔細菌病多発園は、前回散布から7~10日後に今回の散布を行う
特別散布	6月中旬	マイコシールド 66g	21日前	5回	500	せん孔細菌病		
7	月 日	6月中下旬	アビオンE(展着剤) 100mℓ デランフロアブル 166mℓ ダーズバンDF 33g マイコシールド 66g	7日前 14日前 21日前	4回 5回 5回	500	せん孔細菌病 黒星病、灰星病 ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 ウメシロカイガラムシ	①カメムシ類 発生園はスミチオン水和剤 40の1,000倍(3日前、6回)を加用する。
8	月 日	7月上旬	展着剤 10mℓ ナリアWDG 50g イカズチWDG 66g	前日 前日	2回 5回		灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類 モモハモグリガ カメムシ類 アザミウマ類	①晩生種で、せん孔細菌病 発生園は、マイコシールドの1,500倍(21日前、5回)を加用する。*収穫前規制に注意する。 ②ナリア WDG はぶどう(ピオーネ、サニールージュ)、西洋梨・レクチェに薬害を生じるため、飛散しないよう注意する。 ③ハダニ類 発生園はコロマイト乳剤の1,000倍(7日前、1回)を加用する。
9	月 日	7月中下旬 あかつき等 最終防除	展着剤 10mℓ ダニコングフロアブル 50mℓ オンリーワンフロアブル 50mℓ エクシレルSE 20mℓ	前日 前日 前日	1回 3回 3回	500	灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 ハマキムシ類 シンクイムシ類 モモハモグリガ ケムシ類、ハダニ類	★有袋品種は除袋後に散布する。
10	月 日	8月上旬 なつっこ等 最終防除	展着剤 10mℓ ベルコートフロアブル 50mℓ アーデントフロアブル 50mℓ	前日 前日	3回 3回	500	灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類 カメムシ類 アザミウマ類	★有袋品種は除袋後に散布する。 ①カイガラムシ類 発生園は、除袋後の散布にコルト顆粒水和剤の2,000倍(前日、3回)を加用する。
11	月 日	8月中下旬 川中島白桃等 最終防除	展着剤 10mℓ アルバリン顆粒水溶剤 50g オーシャインフロアブル 50mℓ	前日 前日	3回 3回	500	灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 モモハモグリガ アブラムシ類 シンクイムシ類	★有袋品種は除袋後に散布する。 ①アザミウマ類 発生園は、ディアナ WDG の10,000倍(前日、2回)を加用する。
12	月 日	9月上旬 極晩生種 最終防除	展着剤 10mℓ ベルコートフロアブル 50mℓ アーデントフロアブル 50mℓ	前日 前日	3回 3回	500	灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類 カメムシ類 アザミウマ類	★有袋品種は除袋後に散布する。
13	月 日	収穫後	アビオンE(展着剤) 100mℓ IC ボルドー412 3.3kg スミチオン乳剤 100mℓ	— — 3日前	— — 6回	500	せん孔細菌病 モモハモグリガ ナシヒメシンクイ ハマキムシ類 カメムシ類	①スミチオン乳剤は、1回目の散布のみ使用する。 ②【代替】IC ボルドー412に代えて、ムッシュボルドーDFの500倍(開花前まで)を使用してもよい。 ③コスカシバ 発生園は、ラビキラー乳剤200倍(休眠期、1回)を樹幹及び主枝に十分散布する。

◆ 混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル(DF)⇒顆粒水和剤(WDG)⇒水和剤

当防除暦の複製・コピーを禁止します